

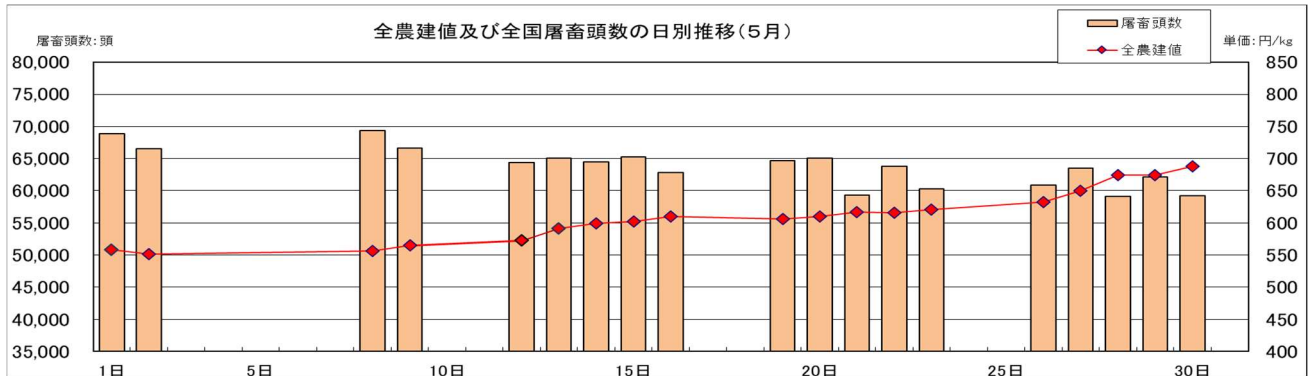
肉豚インフォメーション（5月）

●5月の動向

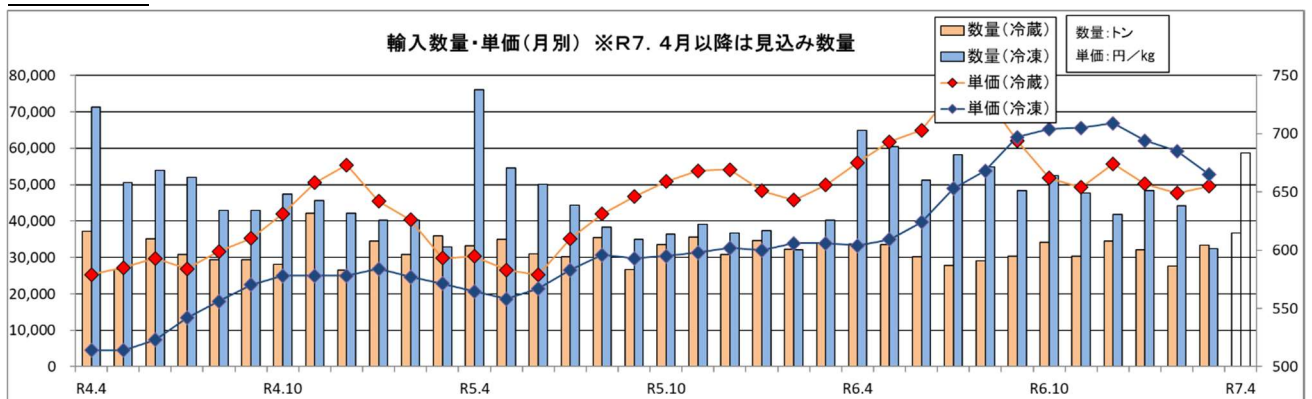
2025年5月（税抜）	2024年5月（税抜）
610 円/kg（58 円高）	552 円/kg

※全農建値

GW 明けから相場は上昇基調となり、また、気温の上昇に伴い出荷頭数が減少し、下旬には 600 円台後半（税抜）の展開になった。

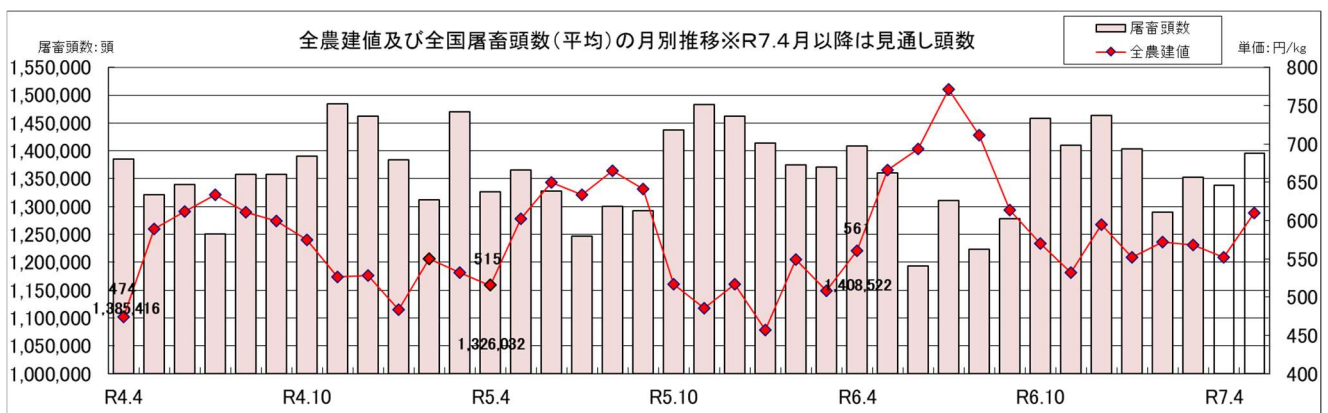


●輸入動向



●6月の動向

6 月の出荷頭数については、前年同月並みの予測。



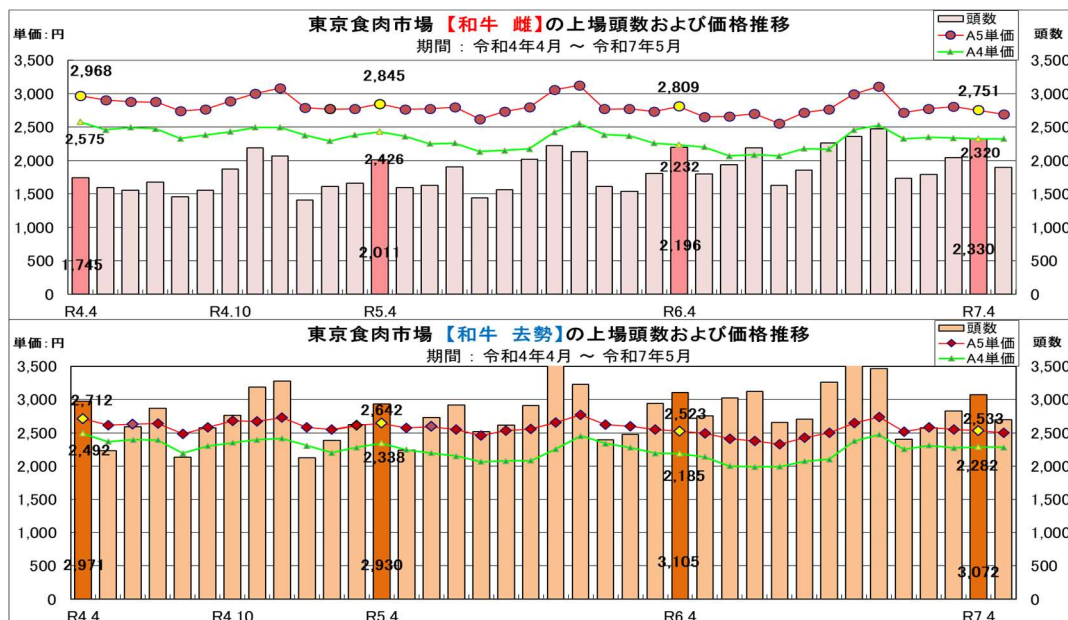
6 月は、昨年の酷暑による種付不良や豚熱などの疾病の影響で出荷頭数は減少し、高値での相場展開が予想される。

全農建値（税抜）予測レンジは 700 円～750 円とする。

肉牛インフォメーション（5月）

●5月の動向

GW明けは補充買いが入り引き合いを強めたが、中旬からは和牛・交雑ともに落ち着き、先月とほぼ同水準で推移した。特に和牛の上物は相場が伸びにくく、交雑は和牛の代替え需要により堅調な相場を保っている。



●6月の動向予測

6月は例年、梅雨に入るため需要が低下する。国の支援事業もあることから、相場が大きく低迷することはないだろうが、和牛上物は品質や銘柄によって価格差が出ると予測する。交雑は引き続き堅調な相場が予想される。

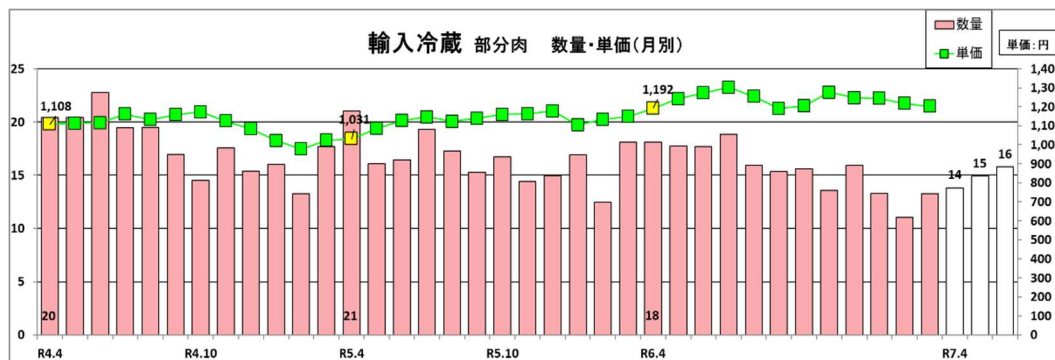
6月相場は「弱気配」の展開と予想。

和牛去勢 A5 等級 2,450 円（税込み） A4 等級 2,200 円（税込み）

交雑去勢 B4 等級 1,650 円（税込み） B3 等級 1,550 円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品は、為替相場や現地価格の高止まりの影響等により、主要輸入先を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれること等から、5月は大幅に、6月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予想する。なお、3カ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。（ALIC 牛肉の需要予測について 5月28日）



食肉インフォメーション (5 月)

●5 月の動向

○牛肉

今年の GW は飛び石連休や円安の影響で国内旅行が主流となり、外食需要は比較的好調だった。BBQ 需要でバラなどの焼き材が動いたが、ロイン系は伸び悩んだ。輸入牛・交雑牛の相場高や乳用牛の供給不足が影響し、豚・鶏肉へのシフトが顕著にみられた。

○豚肉

GW での行楽需要の高まりに伴い、バラや肩ロースといった焼き材の荷動き良化が期待されたが、物価上昇の影響で引き続きウデやモモなどのスソ物を中心とした動きとなった。

輸入豚肉については、国産豚の相場上昇もあり需要がみられた。

●6 月の動向予測

○牛肉

6 月は梅雨入りによって需要が減少し、外食需要や牛肉消費への影響が懸念される。イベントとして「父の日」があることから、ロイン系の高級部位の消費増が期待される。交雑牛については、乳用牛や輸入牛の代替需要の高まりから供給不足も懸念されており、不足分を和牛 4 等級で補う動きもみられると予想される。

○豚肉

6 月は梅雨入りの時期により末端消費は芳しくない見込み。加えて米などの物価高騰も続いており消費者の生活防衛意識は一層強まると予想。そのため、小間切れや挽肉などの安価なスソ物が中心の販売となる見込み。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和 7 年 4 月期） 単位：千円、%

年度	J A ときどき	給食	仲卸関係	食肉専門店	量販店等	飲食店	合計
令和5年度 4 月	27,108	5,267	28,162	18,437	8,484	6,206	93,664
令和6年度 4 月	27,165	4,267	27,247	19,259	10,303	5,907	94,148
令和7年度 4 月	28,335	6,194	38,139	17,420	8,684	5,609	104,381
増減 (R6-R7)	1,170	1,927	10,892	-1,839	-1,619	-298	10,233
対比 (R5-R7)	105%	118%	135%	94%	102%	90%	111%
対比 (R6-R7)	104%	145%	140%	90%	84%	95%	111%